

図書館 だより

LIBRARY
INFORMATION

12月 図書館カレンダー

2025 年 December						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

★クリスマスお話し★

12月13日(土)
午前10時30分～11時30分

●開館時間

☎金(平日):午前9時～午後8時

☎木(平日):午前9時～午後6時

☎日(祝):午前9時～午後5時

●休館日

月曜日(祝日の場合はその翌日)、
図書整理日

お気に入りの本を見つけに図書館へ行こう

読書アプリや書店の魅力的なPOP、新聞の書評など、心惹かれる本の探し方はさまざま。図書館では、毎月の特集や利用者から寄せられた感想など、新たな出会いの入口をご用意しています。趣味に関する本を読み比べたり、未開拓の作家の作品に触れたり、まだ知らない世界を気軽に冒険できるのも図書館の魅力のひとつです。普段は手に取らないジャンルの書架にも、あなたを待っている本があるかもしれません。

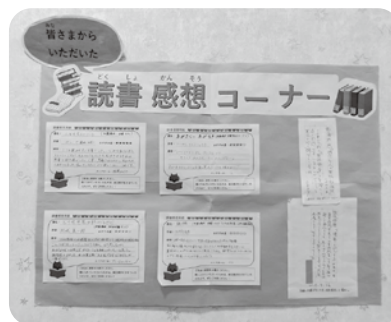
☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

特集コーナー

展示や特設コーナーは、季節や時事に合わせて色々な本が登場します。おすすめしたい本に出会ったらぜひ感想コーナーで紹介してください。



読書感想コーナー



新刊の帯



印象的な一節や読者の感想など、帯の掲示は本の魅力満載のカタログ。

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



毎月の特集は、図書館 HP 生涯学習課Instagramをチェック▶



巨木・名木を まとめた本が完成!



市民学芸員で樹木医の小松崎定男さんが、市内の巨木や名木をまとめた本『かすみがうら市の巨木名木』について話してくれました。

◀本を紹介する小松崎定男さん

市内の樹木調査と本の刊行

「広報かすみがうら」令和5年(2023)6月20日号では、旧出島村や旧千代田町が取り組んだ、巨木・名木などの緑の歴史遺産を後世に伝えるための取り組みを紹介しました。その際、わたしたち「かすみがうら市市民学芸員の会」では、市内所在の巨木・名木の再調査を実施している旨を記載しました。調査は令和3年11月4日～令和6年6月26日という長期間にわたって実施し、会員24名(調査当時)があたりました。

そしてこのほど、ついに調査成果をまとめた本『かすみがうら市の巨木名木』が完成しました。樹木の写真を豊富に掲載し、紹介文は市民目線の分かりやすい内容にまとめました。市内の巨木・名木の魅力を堪能していただける内容になったのではないかと自負しています。

市民学芸員による市内の巨木・名木の講演会を開催

『かすみがうら市の巨木名木』の刊行を記念し、講演会を開催します。来場者には『かすみがうら市の巨木名木』をプレゼントします(1家族1冊まで)。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時:12月14日(土) 午後1時30分～3時30分

会場:かすみがうら市歴史博物館研修施設

演題①:「旧出島村の名木選定事業」

講師:飯塚良哉氏(元出島村役場文化財担当)

演題②:「出島のシイと地域コミュニティ」

講師:木村治美氏(樹木医)

演題③:「千代田の巨木名木10選」

講師:江川浩士氏(『かすみがうら市の巨木名木』編集者)

演題④:「地域の宝 下大津の桜を後世に」

講師:小松崎定男氏(樹木医)

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

人生の 先輩

健康の秘訣をお聞きしました

食は健康維持の要



▲かすみがうら祭で健康食を配布の様子

今回は、市食生活改善推進協議会会長の古渡直子さんにお話を伺いました。

「毎日の食事は、健康と直結するもの。塩分を控え、骨を丈夫に保つことは、健康を維持するために重要なことです。毎日の食事を工夫し、バランス良く食べることを習慣化できるよう、推進員として活動しています。かすみがうら祭では『カルシウム強化ごはん・減塩味噌汁』を無料提供しました。どちらもおいしいと、来場者に大盛況でした。また、仲間との時間も健康維持には欠かせないもの。食で繋がった縁がさらに縁を呼び、仲間が増えることで体だけでなく、心に張りが出ると感じています」



▲かすみがうら市食生活改善推進協議会の皆さん

「人生の先輩」への掲載を募集しています。

対象▶市内在住の65歳以上の方

応募▶情報広報課までお電話にてご連絡ください。

右記の二次元コードからのご応募も可能です。

掲載人数を超えた場合は抽選となり、もれた場合は翌月以降に再抽選します。



☎ 情報広報課(霞ヶ浦庁舎)
☎ 029-897-1111

▲詳細

文芸ひろば 投稿作品

WEBで投稿
できます



千代田俳句同好会	黄葉せし天をつらぬく大銀杏	桜井筑蛙
柿紅葉鳥のさへづる屋根の上	いとほしみ秋茄子育てながら老ゆ	鈴木けい子
山茶花やいつも誰れかを待つベンチ	歳月を辿りて歩く秋の川	萩原初枝
柿紅葉こも空屋となりみたる	紫陽花俳句会	飯沼礼子
霜道と言ふ言葉あり冬に入る	音もなく草木も枯れて秋深む	久保庭悦子
行く先のあの道端は秋の草	時雨来て馴染み遠のく紺のれん	島田和子
出島短歌会	道行けば木犀の香の芳しく前行く若者「秋だ」と声上ぐ	原田佳世子
夏祭りデイサービスのイベントに炭坑節を大合唱	イルカショーしぶき被って盛り上がりシート引き上げ孫と顔寄す	藤本管生
リハビリの散歩のコース坂上の販売機に買うネスレコーヒ	投稿作品	鈴木隆夫
待ちわびし身体の天気雲と傘慣れしマークに今日お日さまが	横たわり部屋の空間に虚しさを遠く昔の面影ただよふ	岡田恭子
青い目のお相撲さんまた勝った母国の人が少し喜ぶ	自己体操朝な夕なにこなして百歳の坂過ぎる人あり	矢口哲雄
シルリハの体操の道さきりげなく説き導きし先達ゆけり	想い出は遠くに在りて懐しく現実近頃は近く傍らに在り	石塚清
放課後のドッジボールや木の実落つ	朝顔に種子取り用の蝶ネクタイ	中島良平
二年越し西の夜空に酔いしれる		高野新一

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。12月3日(木)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562)へお願いします。

※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。